



2月20日開催東地申第39号

(その1)

「2025年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ 「品川統括センター乗務ユニット」団体交渉を行う！

共通

1. 今ダイヤ改正において京浜東北・根岸線で使用するさいたま車両センター所属のE233系の編成数ならびに車両運用数を明らかにすること。

回答: 2025年3月ダイヤ改正時点においては、さいたま車両センター所属のE233系の編成数は82編成である。また、車両運用数は75である。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none">◆ <u>E233系の車両転用計画が出されているが、決まっていることはあるのか。</u>◆ 車両転属により、留置箇所の留置数の変更はあるのか。◆ <u>変化があれば、現場が混乱しないように社員周知を行うこと。</u>	<ul style="list-style-type: none">◆ 2025年度以降に順次計画されていく。<u>今現在、示せるものはない。</u>◆ 何本出すかによって多少変わってくるが、どこの留置を変えるかは車両が出された後の車両運用、ダイヤによって決まってくる。◆ <u>承知した。</u>

2. 休日出勤の蔓延化を解消するような要員配置を引き続き実施すること。

回答: 引き続き、業務に必要な要員は確保していく考えである。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none">◆ <u>休日出勤の抜本解決のため求めている。会社の現状認識はどうか。</u>◆ 現場では休日出勤が蔓延し、体調が良くなくても無理して乗務せざるを得ないという社員もいる。休日出勤は増加しているのか？◆ <u>4月からの育児介護制度の変更で、さらに厳しくなるのではないかと危惧している。そのために取得したい人がためらってしまうと制度改正の意味がない。制度が活用できるような体制や職場運営を行うこと。</u>	<ul style="list-style-type: none">◆ <u>引き続き需給が厳しい状況が続いている認識である。</u>今年度は新規車掌の配属を転出する方や他区とのバランスを勘案しながら、検討をしてきた。◆ 車掌の休日出勤は今年度の上期と下期で比べるとそれほど変化はない。新規の運転士養成の転出で需給が大きく変化はしている。◆ 取得する人が増える認識をもっている。<u>短時間行路の設定などさまざま調整を行っている。制度としてしっかり使えるようにしていく。</u>

3. 生理現象に対してより安心して対応できるように蒲田駅で乗務交代する行路作成を行うこと。

回答: 列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。なお、引き続き効率性と働きやすさの追求に向けた検討を行っていく考えである。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none">◆ <u>今改正ではどうなっているのか。</u>◆ <u>使えるトイレが減ってきている。</u>条件的に作れないものを作れとは言わない。一つの手として、蒲田駅で交代できるのが現実的である。	<ul style="list-style-type: none">◆ <u>これまでと大きく変化はしていない。</u>◆ 基本、<u>蒲田乗継で行路作成している。</u>ただ、<u>睡眠時間確保のためにスルーの方が良いと考えている。</u>必要な箇所にはトイレを設置していくし、<u>要望があれば検討は行う。</u>



2月20日開催東地申第39号

(その2)

「2025年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ 「品川統括センター乗務ユニット」団体交渉を行う！

4.クロス上、平日136行路・227行路ならびに休日126行路・227行路明けに設定されている「その他時間」とはどのような時間なのか具体的に明らかにすること。

回答:業務のさらなる融合と連携に向けて、上長の指示する業務を行う時間であり、列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し指定しているものである。

組 合

- ◆今回、定期行路では初めて「その他時間」が設定される。分割行路での「その他時間」と同じ考えで指示業務を行うのか。
- ◆今改正では無いという事でよいか。

会 社

- ◆基本的には分割行路と考え方は同じである。だが、行路作成の結果、定期行路での「その他時間」の設定はなくなる予定である。
- ◆行路の全体的な中身や分割行路を多数設定するため、定期行路で設定が無くても分割行路の「その他時間」を活用する頻度が高くなるとの考えで、定期行路での設定は行わない。

5.時短勤務の制度変更に伴い時短利用者の増加が見込まれることから、利用対象者とコミュニケーションを図った上で引き続き行路数と行路内容を設定すること。

回答:短時間行路については、線区ごとの輸送形態や箇所の実態に応じて設定している。

組 合

- ◆どの程度の利用者が見込まれているのか。また、行路についてコミュニケーションを図ったうえで設定されているのか。
- ◆クロスでは分割行路の始終業時刻が分からないので、時短勤務を考えている組合員が検討が出来ない。示し方を検討すること。

会 社

- ◆取得者の見込みは集約しきれていない。行路については、朝早目から昼、夜遅くまで満遍なく設定されていて、働きやすさや多様な働き方を考え設定している。
- ◆提案段階で示せるのが良いのだが、行路の組み直しなどもあるので最終的に2月25日にお知らせしている。また、親行路は「その他時間」をどの程度付けるのか、システム上の問題などがあり難しい。今後、検討はしていきたい。

運転士

1.磯子乗務員宿泊所は予備寝室が少なく老朽化が伴うことから建て替えを行うこと。

回答:現時点で、磯子駅電留線休養室の建て替えをする計画はないと聞いている。

組 合

- ◆老朽化している認識はあるのか。
- ◆2階のトイレが使えないなど、老朽化していることから建て替えを検討すること。また、内装だけでも改修するなど検討すること。

会 社

- ◆築60年経過している。女性寝室を増設したこともあり、建て替える計画はないと聞いている。
- ◆睡眠の環境を整える上で、引き続き横浜支社には強く要請していく。



2月20日開催東地申第39号

(その3)

「2025年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ 「品川統括センター乗務ユニット」団体交渉を行う！

2.本郷台乗務員宿泊所は夏は暑く冬は寒い等の老朽化が伴うことから建て替えを行うこと。

回答:現時点で、本郷台駅乗務員宿泊所の建て替えをする計画はないと聞いている。

組 合

会 社

◆首都圏本部としての認識は。

◆磯子ほどではないが、本郷台も昔からの建物で壁が薄いなどは認識している。

◆シャワー待ちや冬場は暖房の効きが悪く寒いなど問題がある。

◆シャワーの増設や睡眠をとるための環境整備を引き続き横浜支社には要請していく。

3.上野駅南行ホーム事務室内のトイレを、駅社員を介すことなく乗務員が気兼ねなく使用できるように改良すること。

回答:現時点で上野駅南行ホーム蒲田方のトイレを改良する計画はない。

組 合

会 社

◆指令を介し、駅に連絡をしなくても使用できるようにすること。

◆山手線側からであれば、連絡をしなくても使用することができる。使用後に駅に言ってもらえれば問題ない。

4.運転士の行路の整理時間が2分減になった理由を明らかにすること。

回答:作業実態に応じて整理時間を精査した結果、見直したものである。なお、必要な労働時間は確保している。

組 合

会 社

◆遅れなど状況報告書を書き、点呼時間を過ぎた場合は超勤でよいか。

◆従来通りの取扱いとなる。

5.東十条引上1番線ならびに2番線の昇降台を安全に利用できるように整備すること。

回答:現時点で、昇降台については、撤去する計画である。

組 合

会 社

◆なぜ撤去するのか。

◆撤去ではなく移設の方が安全上よい。なぜ、撤去するのか。

◆使用回数などを鑑み、撤去する。

◆撤去費と移設費を勘案した。また、使用頻度を鑑みて撤去することにした。

6.以下の行路の睡眠時間を拡大するよう引き続き行路作成すること。

①平平ならびに平休226行路②平平ならびに平休231行路③休休ならびに休平232行路④休休233行路⑤全パターン235行路ならびに239行路⑥平平240行路

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。なお、引き続き効率性と働きやすさの追求に向けた検討を行っていく考えである。

組 合

会 社

◆着発6時間で入出区があると、4時間前後の睡眠で乗務をしている。もう少し余裕を持って作ってほしい。

◆工夫すれば拡大できていると思っている。引き続き、検討していきたい。



2月20日開催東地申第39号

(その4)

「2025年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ 「品川統括センター乗務ユニット」団体交渉を行う！

7.以下の行路の食事を目的とした乗務の中断時間を拡大するように、引き続き行路作成すること。①平日225行路・229行路・234行路明けならびに休日226行路の朝食時間②休日230行路の夕食時間

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。なお、引き続き効率性と働きやすさの追求に向けた検討を行っていく考えである。

組 合

会 社

◆改善できているのか。

◆今回はできていない。適正な時間で食事をとれるようにという事を考慮しながら、引き続き検討していく。

8.南浦和駅ならびに磯子駅における「引上～据付」の列車は着発 10 分以上確保するダイヤを設定すること。

回答:列車ダイヤは、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮して設定している。

組 合

会 社

◆現状の時間で足りているという認識か。

◆磯子では乗務員が車内貫通を行うようになって、定発出来ないこともある。車掌が早足で車内貫通を行って努力をしている。始発駅を定時で発車するのは、鉄道の使命だ。

◆足りている認識だ。

◆定発できないのは会社の信用につながってくる。お客さまの信頼があってこそだと思っている。乗務員の努力も認識している。引き続き状況を見て、出来ることはやっていく。

車掌

1.大宮駅における朝の「段下げ」時間帯が縮小された理由を明らかにすること。

回答:大宮駅における一旦ドア閉め廃止に伴い、列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、検討を行ったものである。なお、引き続き効率性と働きやすさの追求に向けた検討を行っていく考えである。

2.以下の行路の睡眠を目的とした乗務の中断時間を拡大するよう、引き続き行路作成すること。

①平平122行路②平休123行路③休休ならびに平休125行路

④平平ならびに平休127行路⑤平平ならびに休平129行路

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。なお、引き続き効率性と働きやすさの追求に向けた検討を行っていく考えである。

組 合

会 社

◆改善は出来ているのか。

◆改善出来ていない。現状の時間をこれ以上短くならないように検討していく。

その5へ



2月20日開催東地申第39号

(その5)

「2025年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ 「品川統括センター乗務ユニット」団体交渉を行う！

3.以下の行路の食事を目的とした乗務の中断時間を拡大するように、引き続き行路作成すること。

①平日 124 行路・125 行路・126 行路・127 行路・128 行路・136 行路明ならびに休日 124 行路 126 行路・130 行路・131 行路・133 行路・135 行路・138 行路の朝食時間

②平日 113 行路・121 行路・122 行路・123 行路 124 行路・128 行路・130 行路・133 行路の夕食時間

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。なお、引き続き効率性と働きやすさの追求に向けた検討を行っていく考えである。

組 合

◆改善は出来ているのか。

会 社

◆改善できていない。引き続き、拡大できるところは拡大していきたい。

4.平日118行路・119行路・127行路は他の行路と比べて乗務キロが突出しているため、乗務キロを平準化するように行路作成すること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組 合

◆乗務キロが長いだけでなく、拘束時間も長い。

会 社

◆この3行路は認識している。次回改正以降、削減できるのであれば検討していく。

5.平日136行路の拘束時間を短縮すること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。なお、引き続き効率性と働きやすさの追求に向けた検討を行っていく考えである。

組 合

◆短縮出来ているのか。

会 社

◆「その他時間」が取れたので、拘束時間は短くなっている。

6.各駅での折り返し時間を6分以上確保すること。

回答:列車ダイヤは、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件を考慮して設定している。

組 合

◆ホームドアの設置やホーム上の混雑で5分での折り返しは厳しい。

会 社

◆遅れの状況など状況を注視していく。

7.平日108行路・109行路の出勤時間を午前8時以降に設定すること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。なお、引き続き効率性と働きやすさの追求に向けた検討を行っていく考えである。

組 合

◆改善出来ているのか。

会 社

◆109行路は現行より15分程下がっている。引き続き、検討していく。

今後の検証行動を通じ安全で働きやすい
職場をつくり出していこう！